

地域ESD活動推進拠点として

ネイパル森

主催事業

事例紹介

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課ネイパル森グループ

社会教育主事 舩田 暁史



はじめに



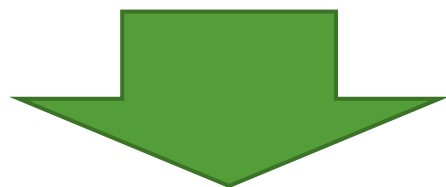
主催事業の企画する上で

北海道の教育施設として

社会の変化に対応し、生涯にわたって生き抜く力を身に付ける。

地域ESD活動推進拠点として

4.7 全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。



“自分事に捉え、行動する”

主催事業の企画する上で



令和3年8月7日（土）～9日（月）
小学校4年生～6年生 48名

「環境教育の充実」

テーマ「人工林の循環」



主催事業の企画する上で



+ 1 6 9

ターゲットへの意識

ターゲットへの意識

15 陸の豊かさも
守ろう



陸上生態系の**保護、回復**および**持続可能な利用**の推進、
森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止
および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

- 15.1 2020年までに、国際協定の下での義務に則って、**森林**、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、
回復及び**持続可能な利用**を確保する。
- 15.2 2020年までに、あらゆる種類の**森林の持続可能な経営の実施**を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。

ターゲットへの意識



持続可能な消費と生産の

パターンを確保する

12.1 2030年までに**天然資源の持続可能な管理**

及び**効率的な利用**を達成する。

12.8 2030年までに人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

こちら側に重きを置いている

ターゲットへの意識

“人工林の循環”

~~保護 増やす 手つかず~~

持続可能な利用・管理

プログラム構成について

“自分事に捉え、行動する” って？

自分で判断し、行動する

きっかけづくり

~~やりっぱなし 講義しっぱなし~~

思考がスムーズ

12:45受付開始

													13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
													開 会 式	活動① 環境クイズ	活動② サイエンスタイム			夕 食	活動③ 森林博士 になろう	入 浴	振 り 返 り	就 寝
6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22						
	起 床	洗 面	朝 食	準 備	活動④ 林業職人になろう!			昼 食	活動⑤ My椅子づくり			夕 食	活動⑥ スウェーデン トーチ		入 浴	交 流	就 寝					
6	7	8	9	10	11																	
	起 床	洗 面	朝 食	片 付 け	活動⑦ みらいの木	閉 会 式																

11:30終了

思考を深める（知識）

実感する（体験・活用）

振り返る（一般化）

プログラム構成について

“身近な話題” から活動への導入



活動① 環境クイズ (知識の確認・共有)

プログラム構成について

疑問に持ったことを“確かめる”



活動② サイエンスタイム（実験）

プログラム構成について

“深める活動” 具体的な資料や問題提起



活動③ 森林博士になろう (知識 深める)

プログラム構成について

“生” で体感するプロの技、作業



専門家による間伐作業

間伐している様子を見学する参加者

活動④ 林業体験 (体感)

プログラム構成について

“間伐材”の活用方法を知る



活動⑤My椅子作り (活用)



活動⑥スウェーデントーチ (活用)

プログラム構成について

環境保全に対する思いを“可視化”



活動⑦みらいの木 (振り返り・一般化)

おわりに



視点を絞り、具体的な内容していくこと

体験活動に意味を持たし、**振り返り**を丁寧に行うこと